

## 第 14 回総合治水ワーキングチーム会議の協議結果

日 時 平成 17 年 12 月 8 日 (木) 17:30~21:55

場 所 西宮市男女共同参画センター

出席者 (委員) 松本(誠)、川谷、長峯、岡田、加藤、佐々木、田村、中川  
浅見、武田、伊藤、岡、草薙、酒井、谷田、土谷、山仲  
(河川管理者) 田中、渡邊、松本、前川、西村  
(農林水産部) 福田 (河川整備課) 糟谷 (公園緑地課) 橋  
(公園都市整備課) 松村  
(事務局) 黒田、前田、植田、木本

## 内 容(協議結果)

## (1) 河川対策の検討

武庫川堤防技術検討委員会(H14~H15)の検討内容について、県担当課(河川整備課)からヒアリングを行った。堤防、河川敷の樹木管理について、水の流れや景観との関係を確認するため、樹木の現状(本数)伐採予定数等を再ヒアリングする。また、耐震安全性については阪神・淡路級の直下型地震については安全性は確認されたとしているが、構造計算等の解析は行っていない。長周期の大規模地震に対する安全性も確認されていない。(全国的に確認事例がなく、現在、大学等研究機関で検討されている。)

低水路掘削(工事实施基本計画の河床高まで掘削)した場合の流下能力について、河川管理者から考え方を聴取した。次回WTでは、低水路拡幅等でどこまで基本高水のピーク流量を分担できるかについて協議する。河川管理者はそのための資料を用意する。

H9年策定の工事实施基本計画および全体計画との比較表の提出、武庫川本川上流部の流下能力、工事实施基本計画、想定基本高水等との関係、河道対策についても、河川管理者は資料を用意する。

## (2) 流域対策の検討

田村委員から提案のあった新たな対策案(宝塚新都市計画区域の県取得用地内に調整池等の流出抑制施設を新設)について、次回WTにおいて、県担当課(企業庁公園都市整備課)から課題等の説明を受けたうえ、取り扱いを協議する。

伊藤委員から集水面積の大きいため池、および都市計画区域内にあり将来滅失が懸念されるため池を改修時等にあわせて河川管理者の管理下におき、治水目的に使用するように改める。また、流域内の貯水池は多目的ダムとして治水ダムにも使用するようにすることの検討案が出された。

松本主査から提案のあった「流域対策採用可能性一覧」については、表区分を補強のうえ、次回WT以降、逐次整理していく。

## 2 次回会議の協議事項

流域対策の検討（継続）

河川対策の検討（継続）

## 3 今後の日程（開催日時）

第15回 12月13日（火）17:30～20:00

第16回 12月24日（土）13:30～17:00

第17回 1月10日（火）13:30～

第18回 1月20日（金）17:30～